

同十五年夏四月五日己卯授出羽国從三位勲五等大物忌神正三位云々
同陽盛天皇元慶二年秋八月四日丁卯出羽国飛驒奏言の事ありお件は記も是日彼国正三位勲五等大物忌神進勲二等正二位云々

正平十三年八月廿日從一位源内大臣敏定卿小石山乙友村少卿の附状は出羽一宮とあり延宝六丙午年櫛三番六十余別一宮巡詣の記は出羽一宮中后殿の跋文は出羽

一宮とあり元禄九子年領主の赤尾常賢氏の附状は出羽一宮とあり同十年古社役人奥津氏中村氏一山へ渡されしは是出羽一宮とあり宝永四年林太左衛門尉常桂系翁芹田氏三田氏等御とされしは一宮も出羽一宮とあり徳政享保五年淺利大賢等御の記も出羽一宮とあり徳政の学芸者より知来りしは是なり正年領主の赤尾小寺氏唐田記も尚社を以て一宮とに是なり是長以来の據れおしし一宮と云々記をに